

平成25年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年12月27日

上場取引所 札

上場会社名 株式会社北の達人コーポレーション
 コード番号 2930 URL <http://www.kitanotatsujin.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成25年1月15日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 木下 勝寿
 (氏名) 清水 重厚

TEL 011-757-5567

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年2月期第3四半期の業績(平成24年3月1日～平成24年11月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第3四半期	1,021	83.6	204	159.4	194	145.6	112	114.8
24年2月期第3四半期	556	—	78	—	79	—	52	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
25年2月期第3四半期	183.58	179.88
24年2月期第3四半期	90.61	—

(注)当社は、平成23年2月期第3四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、平成24年2月期第3四半期の対前年同四半期増減率の記載をしておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
25年2月期第3四半期	740	506	68.3	795.89
24年2月期	493	351	71.3	606.67

(参考) 自己資本 25年2月期第3四半期 505百万円 24年2月期 351百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
24年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年2月期	—	20.00	—	—	—
25年2月期(予想)	—	—	—	40.00	60.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年2月期の業績予想(平成24年3月1日～平成25年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	1,396	72.9	279	94.7	269	89.7	156	74.2	248.93

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年2月期3Q	635,350 株	24年2月期	580,000 株
----------	-----------	--------	-----------

② 期末自己株式数

25年2月期3Q	50 株	24年2月期	— 株
----------	------	--------	-----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年2月期3Q	615,016 株	24年2月期3Q	580,000 株
----------	-----------	----------	-----------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において当社が入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に対する仮定を前提としているため、実際の業績は今後の様々な要因により異なる可能性があります。上記予想に関連する事項につきましては、添付資料3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(3) 追加情報	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 継続企業の前提に関する注記	7
(5) セグメント情報等	7
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(7) 重要な後発事象	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等により緩やかながら回復基調にありましたが、長期化する円高の影響や新興国をはじめとする世界経済の景気減速等により、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

一方、Eコマース（電子商取引）業界におきましては、スマートフォンやタブレット端末の急速な普及拡大に伴い、インターネットの利用が一層拡大し、Eコマース市場全体を押し上げております。

このような市場環境に鑑み、当社におきましては、市場拡大のチャンスは今後益々高まると判断し、スマートフォンやタブレット端末における利便性の向上や、激変する顧客ニーズへの対応等、今後も数多くのお客様にご利用いただけるサイトの構築に努めるとともに質的向上を図りました。

こうした経営環境の下、平成25年2月期第2四半期までの好調な業績を踏まえ、修正計画（上方修正）を策定し、平成24年9月28日に発表いたしました。当社の主力商品である「カイトキオリゴ」と、第2の柱として急成長している「みんなの肌潤糖」の売上高は、これまで順調に推移しており、概ね計画どおりの売上を達成することができました。また、課題でありました「カイトキオリゴ」への売上依存度の高さ（平成24年2月期では85.2%）につきましても、直近の平成24年11月度単月では60.9%まで縮小され、順調に改善が進んでおります。そのほか、定期購入者数（人数ベース）につきましても、平成24年11月末日現在で、対前年同月比190.1%となり、定期購入売上による安定的な事業基盤の構築と拡大を図りました。これら定期購入売上の拡大は、広告販促費等が最小限で抑えられることから、収益性の向上に大きく貢献しております。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は1,021,040千円（前年同期比83.6%増）となりました。また、営業利益は204,860千円（同159.4%増）、経常利益は194,049千円（同145.6%増）、四半期純利益は112,904千円（同114.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第3四半期会計期間末における資産合計は740,273千円となり、前事業年度末に比べ246,961千円増加いたしました。これは主に現金及び預金が171,226千円、たな卸資産が56,056千円、売掛金が15,864千円増加したこと等によるものであります。

（負債）

当第3四半期会計期間末における負債合計は233,410千円となり、前事業年度末に比べ91,965千円増加いたしました。これは主に未払金が24,064千円、買掛金が22,998千円、前受金が13,063千円、未払法人税等が11,677千円増加したこと等によるものであります。

（純資産）

当第3四半期会計期間末における純資産合計は506,862千円となり、前事業年度末に比べ154,995千円増加いたしました。これは主に株式上場時の公募増資等により資本金及び資本剰余金が53,542千円、四半期純利益の計上等により利益剰余金が100,298千円増加したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前事業年度末に比べ171,226千円増加し、451,467千円となりました。

当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期累計期間において営業活動の結果増加した資金は、142,175千円（前年同四半期比142,073千円増）となりました。この主な要因は、税引前四半期純利益194,049千円、未払金の増加23,363千円、仕入債務の増加22,998千円、前受金の増加13,063千円が生じた一方で、たな卸資産の増加56,056千円、売上債権の増加15,864千円及び法人税等の支払額75,314千円が生じたこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期累計期間において投資活動の結果減少した資金は、2,713千円（前年同期は13,815千円の増加）となりました。この要因は、有形固定資産の取得2,072千円、無形固定資産の取得641千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間において財務活動の結果増加した資金は、31,764千円(前事業年度は増減なし)となりました。この主な要因は、株式の発行による収入48,405千円が生じた一方で、配当金の支払額12,054千円、株式公開費用の支出8,684千円が生じたこと等によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成24年9月28日の「平成25年2月期第2四半期決算短信」で公表いたしました通期の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(3) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年2月29日)	当第3四半期会計期間 (平成24年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	280,241	451,467
売掛金	60,232	76,096
製品	54,312	105,633
仕掛品	13,186	1,643
原材料及び貯蔵品	54,813	71,091
繰延税金資産	5,847	10,743
その他	9,223	6,774
貸倒引当金	△508	△1,367
流動資産合計	477,349	722,084
固定資産		
有形固定資産	5,673	6,786
無形固定資産	3,532	3,695
投資その他の資産	6,756	7,706
固定資産合計	15,963	18,189
資産合計	493,312	740,273
負債の部		
流動負債		
買掛金	8,267	31,265
未払金	29,812	53,877
未払法人税等	43,450	55,128
未払消費税等	3,965	11,454
前受金	50,336	63,399
販売促進引当金	3,114	13,636
その他	2,498	4,647
流動負債合計	141,445	233,410
負債合計	141,445	233,410
純資産の部		
株主資本		
資本金	47,000	73,771
資本剰余金	27,000	53,771
利益剰余金	277,866	378,165
自己株式	—	△77
株主資本合計	351,866	505,630
新株予約権	—	1,232
純資産合計	351,866	506,862
負債純資産合計	493,312	740,273

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)
売上高	556,256	1,021,040
売上原価	113,378	261,146
売上総利益	442,877	759,894
販売費及び一般管理費	363,912	555,033
営業利益	78,965	204,860
営業外収益		
受取利息	0	1
受取負担金	113	—
広告料収入	105	—
受取弁済金	39	20
その他	144	52
営業外収益合計	403	74
営業外費用		
支払利息	73	—
株式交付費	—	2,194
株式公開費用	288	8,684
その他	—	5
営業外費用合計	361	10,884
経常利益	79,008	194,049
特別利益		
保険解約益	9,221	—
販売促進引当金戻入額	3,018	—
特別利益合計	12,239	—
特別損失		
事業所閉鎖損失	2,459	—
特別損失合計	2,459	—
税引前四半期純利益	88,788	194,049
法人税、住民税及び事業税	34,855	86,991
法人税等調整額	1,382	△5,846
法人税等合計	36,237	81,145
四半期純利益	52,550	112,904

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	88,788	194,049
減価償却費	1,759	1,586
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	112	859
販売促進引当金の増減額 (△は減少)	△3,018	10,522
受取利息及び受取配当金	0	△1
保険解約損益 (△は益)	△9,221	—
支払利息	73	—
事業所閉鎖損失	2,459	—
株式交付費	—	2,194
株式公開費用	288	8,684
売上債権の増減額 (△は増加)	△18,622	△15,864
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△44,113	△56,056
その他の資産の増減額 (△は増加)	△4,494	2,449
仕入債務の増減額 (△は減少)	12,459	22,998
未払金の増減額 (△は減少)	9,288	23,363
前受金の増減額 (△は減少)	—	13,063
その他の負債の増減額 (△は減少)	△3,204	9,639
小計	32,552	217,488
利息及び配当金の受取額	0	1
利息の支払額	△73	—
事業所閉鎖に伴う支出	△967	—
法人税等の支払額	△31,410	△75,314
営業活動によるキャッシュ・フロー	102	142,175
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,862	△2,072
無形固定資産の取得による支出	△529	△641
敷金の返還による収入	780	—
保証金の返還による収入	1,894	—
保険積立金の解約による収入	13,839	—
その他	△306	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	13,815	△2,713
財務活動によるキャッシュ・フロー		
新株予約権の発行による収入	—	1,232
ストックオプションの行使による収入	—	2,942
配当金の支払額	—	△12,054
株式の発行による収入	—	48,405
株式公開費用の支出	—	△8,684
自己株式の取得による支出	—	△77
財務活動によるキャッシュ・フロー	—	31,764
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	13,918	171,226
現金及び現金同等物の期首残高	187,137	280,241
現金及び現金同等物の四半期末残高	201,055	451,467

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

当第3四半期累計期間(自平成24年3月1日至平成24年11月30日)

当社はEコマース事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期会計期間末において資本金は73,771千円、資本剰余金は53,771千円となっております。これは平成24年5月29日の札幌証券取引所アンビシャス市場への上場にあたり、平成24年5月28日付で公募増資の払い込みを受け、資本金及び資本準備金がそれぞれ25,300千円増加したこと、新株予約権の行使により資本金及び資本準備金がそれぞれ1,471千円増加したことによるものであります。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。